

第3回 平成28年熊本地震復旧・復興本部会議 次第

平成28年10月3日 9:20~9:50

於：知事応接室

1 開会

2 本部長（知事）挨拶

3 議題 「平成28年熊本地震からの復旧・復興プラン」の改訂について

- ・事務局説明

- ・意見交換

4 閉会

「平成28年熊本地震からの復旧・復興プラン」の改訂について

平成28年10月 熊本県

【主な改訂内容】

被害額の公表〔県全体の集計額としては地震後初めての公表〕

- 復旧・復興に必要な施策の充実・強化を図るには、被害の実態をより正確に把握する必要があることから、被災自治体や関係機関等からの聞き取り及び被害状況からの推計により、県として被害額を試算したものを。

約3.8兆円(熊本県調べ H28.9.14時点)

〔参考〕内閣府 熊本地震の影響試算(H28.5.23発表)
熊本県の毀損額(推計):約1.8~3.8兆円

「概ね4年間の取組み」の充実・明確化〔次期4カ年戦略のベース〕

- 8月3日に策定したプランでは、痛みの最小化を目指した早急な対応(主に平成28年度の取組み)を中心に整理。
- 今回の改訂では、初期の対応から復旧・復興のステージへと進む状況の中、新たな熊本の創造に向けた「概ね4年間の取組み」を充実・明確化。

〔参考〕復旧・復興プラン目次

〔凡例〕

はじめに充実・明確化する箇所
第1章 被災状況	
第2章 復旧・復興の目指す姿	
第3章 復旧・復興に向けた取組み	
1 痛みの最小化を目指した早急な対応(主に平成28年度の取組み)	
2 新たな熊本の創造に向けた取組み(概ね4年間の取組み、その後の取組み)	
第4章 今後の「震災復興モデル」となるために	

ロードマップの内容修正及び項目追加

- 被災された方々の生活再建や事業再開を後押しするためには、関連事項の今後の見通しをより分かりやすく示し、県民と共有していく必要があることから、「ロードマップ」として整理。
- 今回のプラン改訂では、既公表項目の進捗に合わせた内容修正と合わせ、現時点でスケジュール等の整理が出来た4項目を追加した。
- 今後も、復旧・復興に向けた取組みの進捗に応じ、内容の具体化等を行う。

〔参考〕新たにロードマップに追加した項目

No.20 復興を担う人材の確保・育成と若者の県内就職促進

No.24 カトリックセンター C E や選果場などの共同利用施設の復旧・再編と災害時補完体制の構築
創造的復興の取組みとしても位置付け

No.25 農業生産を支える労働力確保対策と産地づくりの推進
創造的復興の取組みとしても位置付け

No.28 国際スポーツ大会等を通じた復興する熊本の世界への発信
県民と一体となって取り組む必要あり

復旧・復興の3原則

被災された方々の痛みを最小化する
単に元あった姿に戻すだけでなく、創造的な復興を目指す
復旧・復興を熊本の更なる発展につなげる

有識者会議

住民に寄り添った協働による復興
次の災害に備える復興
創造的復興
次代に継承する復興
国・国民合意による復興

基本理念

県民の総力を結集し、
将来世代にわたる県民総幸福量を最大化する

熊本の将来像

災害に強く
誇れる^{たから}資産を
次代につなぎ
夢にあふれる
新たな熊本

将来が夢にあふれ、
希望に満ちた熊本
(Hope)

災害に強く、
安全安心に
生活できる熊本
(Safety)

熊本の宝が継承され、
誇りに満ちた熊本
(Pride)

経済的に安定し、
躍動する熊本
(Economy)



痛みの最小化を目指した早急な対応(主に平成28年度の取組み)

くらし・生活の再建 ~ 被災者に寄り添い、すまい、医療・福祉、教育など県民生活を再建 ~

- ◆ 避難所の運営支援(要配慮者支援等)
- ◆ 仮設住宅の提供(「みんなの家」整備、利便施設設置、交通手段確保を含む)
- ◆ 宅地の復旧、耐震化支援
- ◆ 経済的困窮者や子供の支援
- ◆ 震災離職者等の就労支援
- ◆ 損壊家屋等の公費解体及び災害廃棄物処理
- ◆ 学校施設復旧・再開、心のケアと学力確保
- ◆ 医療・福祉施設復旧、被災者の健康・心のケア
- ◆ 出産・子育て環境の回復
- ◆ 南阿蘇村立野地区における寄添い支援
- ◆ 東海大学農学部阿蘇キャンパスの再開支援

社会基盤の復旧 ~ 道路・鉄道、阿蘇・熊本城、防災拠点など「くまもと」の基盤を再生 ~

- ◆ 被災道路の応急復旧及び本格復旧着手
- ◆ 国道57号・阿蘇大橋復旧方針決定、依山ルート年内仮復旧
- ◆ 南阿蘇鉄道、JR豊肥本線の復旧推進
- ◆ 市町村庁舎など防災拠点の復旧支援
- ◆ 「熊本都市圏東部地域グランドデザイン(大空港構想NextStage)」の策定
- ◆ 広域防災拠点の機能強化
- ◆ 国民参加による熊本城復旧の推進
- ◆ 阿蘇の草原など自然・景観の再生推進

地域産業の再生 ~ 風評被害対策の実施、観光産業、農林水産業、商工業などを再生 ~

- ◆ 風評被害対策、観光産業の再生
- ◆ 農地・農業用施設の復旧、営農支援
- ◆ 応援気運を捉えた農林水産物の販路拡大
- ◆ グループ補助金等による地域産業の再生
- ◆ サプライチェーンの回復、企業BCP支援

交流機能の回復 ~ 阿蘇くまもと空港、熊本港、八代港などの復旧と機能を強化 ~

- ◆ 「熊本都市圏東部地域グランドデザイン(大空港構想NextStage)」の策定
- ◆ 熊本港、八代港の機能強化と利用促進
- ◆ 国際人材の育成、活動支援

新たな熊本の創造に向けた概ね4年間の取組み等(別紙)

安心で希望に満ちた暮らしの創造

~ 安心・希望を叶える ~

家族や地域の強い絆が息づく地域づくり
安全安心で暮らし学べる生活環境づくり
あらゆる状況に備える医療・福祉提供体制の構築

未来へつなぐ資産の創造

~ 未来の礎を築く ~

災害に負けない基盤づくり
地域の特性を活かした拠点・まち・観光地域づくり
くまもとの誇りの回復と宝の継承

次代を担う力強い地域産業の創造

~ 地域の活力と雇用を再生する ~

競争力ある農林水産業の実現
県経済を支える企業の再生・発展
自然共生型産業(アグリ・バイオ・ヘルスケア等)を核としたオープンイノベーション機能の確立
地域資源を活かす観光産業の革新・成長
地域を支え次代を担う人材確保・育成

世界とつながる新たな熊本の創造

~ 世界に挑み、世界を拓く ~

空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化
世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出

今後の「震災復興モデル」となるために

国や市町村など多様な主体との連携・協力

- 国との連携 … 国直轄事業の実施を含め、技術・人材・財源等で国と県が緊密に連携
- 市町村との連携 … 被災市町村の復興計画の策定や着実な推進を支援、地域の振興計画とも連携
- 県内外の多様な主体との連携 … 県民、地域組織、ボランティア団体、産業界、教育機関、金融機関等の総力を結集

復興財源等の確保

復旧・復興事業への人材と財源の重点化、及び国に対する財政支援要望

プランの進行管理

平成28年熊本地震復旧・復興本部を中心としてPDCAサイクルによる進行管理

災害対応の検証を踏まえたプランの見直し

検証結果をプラン改訂に反映
「創造的復興」のモデルとして全国に発信するとともに、災害対応の教訓等を後世に伝承

新たな熊本の創造に向けた概ね4年間の取組み等

(1) 安心で希望に満ちた暮らしの創造

～安心・希望を叶える～

施策1 家族や地域の強い絆が息づく地域づくり

「すまい」再建・災害公営住宅建設・住宅耐震化・宅地復旧の推進
 「みんなの家」整備などコミュニティ形成支援
 「地域支え合いセンター」設置・運営支援
 南阿蘇村立野地区寄添支援、東海大学阿蘇キャンパス再開支援
 買い物弱者や三世同居の支援など集落生活圏形成の推進

施策2 安全安心で暮らし学べる生活環境づくり

被災者や生活困窮者の生活再建支援
 学校の耐震化、防災拠点・避難所としての機能整備
 “子ども食堂”などと連携した子供の居場所づくり等の支援

施策3 あらゆる状況に備える医療・福祉提供体制の構築

医療・社会福祉施設の耐震化など防災対策促進
 「くまもと暮らし安心システム」（地域包括ケア等）の構築

(2) 未来へつなぐ資産の創造

～未来の礎を築く～

施策4 災害に負けない基盤づくり

幹線道路ネットワークの整備などリダンダンシーの確保
 道路、河川等の社会資本等の強靱化
 防災拠点となる庁舎等の耐震化・機能充実
 震災ミュージアム等のあり方検討

施策5 地域の特性を活かした拠点・まち・観光地域づくり

熊本都市圏東部地域等の復興のまちづくり
 「九州を支える広域防災拠点構想」に基づく拠点施設機能強化
 地域資源の発掘・磨き上げ等による観光地域づくり

施策6 くまもとの誇りの回復と宝の継承

熊本城や阿蘇神社など文化財の修復
 阿蘇の草原再生、地下水と土を育む取組みの推進

(3) 次代を担う力強い地域産業の創造

～地域の活力と雇用を再生する～

施策7 競争力ある農林水産業の実現

農地の大区画化、農地集積、「熊本広域農場構想」の展開
 熊本型農業者育成の仕組み構築、収益性の高い次世代型農業の展開
 森林経営強化、流通体制整備、CLT等の新技術活用による需要拡大
 漁場の環境改善、ノリ養殖等の協業化推進、新たな養殖技術の確立
 選果場等の再編整備、農林水産物のPR、学校給食等での地産地消

施策8 県経済を支える企業の再生・発展

ICT・IoT・AI活用によるサービス産業をはじめとした企業の生産性革命
 リーディング企業の創出及び株式上場の支援
 半導体・自動車関連や医療・食品関連等の成長分野を対象にした企業誘致
 事業継続計画（BCP）策定による災害に強い体制構築の促進

施策9 自然共生型産業を核としたオープンイノベーション機能の確立

自然共生型産業（アグリ・バイオ・ヘルスケア等）など新事業創出支援
 クラウドファンディングを活用した「ふるさと投資」による企業支援

施策10 地域資源を活かす観光産業の革新・成長

熊本城の復元過程を活用したツアー等による新たな誘客の促進
 「くまもと版DMO」による滞在型観光の更なる推進
 ホテル・旅館等の復旧と高付加価値化の取組みの支援

施策11 地域を支え次代を担う人材確保・育成

UIJターン就職支援センターによる人材確保
 プライアント企業の認定による若者の県内企業への就職促進
 医療・福祉、建設・交通分野など地域を支える人材の確保・育成

(4) 世界とつながる新たな熊本の創造

～世界に挑み、世界を拓く～

施策12 空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化

「大空港構想 NextStage」に基づく空港の機能強化等の推進
 年間70隻以上のクルーズ船寄港実現と県内各地への効果波及
 耐震強化岸壁の整備など熊本港・八代港の海外展開拠点化の推進

施策13 世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出

くまモンを活用した「KUMAMOTO ブランド」の世界展開
 女子ハンドボール世界選手権大会やラグビーワールドカップの開催
 “英語教育日本一”、留学・進学支援によるグローバル人材育成